

問1 臨時国会などの説明において、毎年1月に召集される会期150日の国会のことを、法律上何というか？

1. 閉会中審査 2. 特別会 3. 常会 4. 臨時会

問2 国務大臣の資格として定められている、現役の軍人ではない人を指す用語を何という？

1. 職業軍人 2. 文民 3. 政治家 4. 公務員

問3 第一審や第二審の判決に不服がある場合、さらに上級の裁判所に裁判をやり直すよう求める手続きを何という？

1. 抗告 2. 上告 3. 再審 4. 控訴

問4 閣議を構成し、内閣の各部門の責任者として行政を担当する人たちを何という？

1. 国務大臣 2. 地方公務員 3. 国家公務員 4. 特別職

問5 民事裁判において、判決を下すのではなく、当事者同士が話し合っ合意し、解決を図ることを何という？

1. 上告 2. 告訴 3. 判決 4. 和解

問6 慎重な審理によって裁判の誤りを防ぐために、同じ事件について3回まで裁判をやり直すことができる制度を何という？

1. 参審制 2. 陪審制 3. 弾劾裁判 4. 三審制

問7 内閣が天皇の国事行為に対して行う、形式的あるいは儀礼的な同意を与える行為を何という？

1. 解散の権限 2. 助言と承認 3. 弾劾の権限 4. 指名の権限

問8 民事裁判の第一審判決に不服があり、第二審の裁判所へやり直しを求める手続きを何という？

1. 上告 2. 抗告 3. 再審 4. 控訴

問9 内閣が行政権の行使について方針を決定する、全会一致が原則の会議を何という？

1. 国会審議 2. 閣議 3. 公聴会 4. 裁判官会議

問10 衆議院で可決された法律案を参議院が否決した場合、法律として成立させるために衆議院で必要とされる条件は何か？

1. 出席議員の過半数 2. 総議員の過半数 3. 総議員の3分の2以上 4. 出席議員の3分の2以上

問11 国民審査が任命後初めて行われるタイミングは、どの選挙と同時か？

1. 参議院議員通常選挙 2. 補欠選挙 3. 衆議院議員総選挙 4. 地方選挙

問12 法律が憲法に違反しているかどうかを最終的に判断する権限を持ち、「憲法の番人」と呼ばれる日本の司法機関を何という？

1. 最高裁判所 2. 簡易裁判所 3. 高等裁判所 4. 家庭裁判所

問13 最高裁判所の下に置かれる、小規模な事件を迅速に処理するための裁判所を何という？

1. 高等裁判所 2. 地方裁判所 3. 最高裁判所 4. 簡易裁判所

問14 予算の議決において、衆議院と参議院の意見が一致しない場合に衆議院の議決が優先されることを何という？

1. 両院協議会 2. 衆議院の優越 3. 予算の先議権 4. 不信任の議決

問15 重大な刑事事件を扱い、裁判員制度が適用される裁判所を何という？

1. 高等裁判所 2. 簡易裁判所 3. 家庭裁判所 4. 地方裁判所

問16 審議が予定通り終わらない場合、通常国会において一度だけ認められている措置を何というか？

1. 緊急集会 2. 参議院の閉会 3. 会期の延長 4. 臨時召集

答え合わせ・解説

問1	答え 3 常会	いわゆる「通常国会」は、法律の正式名称を「常会」といいます。これに対し、臨時国会は「臨時会」と呼びます。常会にはあらかじめ150日という会期が定められていますが、臨時会には固定された会期がなく、召集されるたびに議決で期間が決まります。
問2	答え 2 文民	「文民」とは、軍人以外の一般市民を指します。憲法第66条第2項により、内閣を構成する国務大臣はすべて文民でなければならないとされています。これにより軍部が直接政府の意思決定を支配することを阻止しています。
問3	答え 2 上告	上告は、三審制における第三審（最高裁判所への申し立て）を指します。上告は、原判決が憲法に違反している場合や、過去の判例と判断が異なる場合などに限定して認められるのが原則です。
問4	答え 1 国務大臣	内閣総理大臣によって任命され、閣議に参加して政府の方針を決定します。過半数は国会議員でなければならないと定められており、民主的な統制を受けています。各大臣はそれぞれ担当する省庁を率いて政策を実行します。
問5	答え 4 和解	和解は、裁判官の仲立ちや当事者同士の話し合いによって合意に至る解決策です。双方が納得できる条件で譲歩するため、判決よりも納得感が高く、早期解決につながりやすいという利点があります。確定した和解は、裁判の判決と同じ効力を持ちます。
問6	答え 4 三審制	第一審、第二審（控訴審）、第三審（上告審）の3段階で審理が行われます。これにより、下級裁判所の判決に対して上級裁判所が再検討する機会が与えられます。
問7	答え 2 助言と承認	日本国憲法第3条により、天皇が行う国事行為（法律の公布や国会の招集など）には、内閣の助言と承認が必要とされています。これにより、天皇の行為に対する責任は内閣が負うこととなります。
問8	答え 4 控訴	第一審の判決が出た後、一定期間内に「控訴」の手続きをとることで、第二審での裁判が行われます。控訴は、事実の認定が間違っていることや、法律の適用が不当であることなどを主張するために行われます。
問9	答え 2 閣議	内閣は行政権を行使する最高機関であり、閣議はその意思決定の場です。内閣総理大臣が議長を務め、すべての国務大臣が参加します。意思決定においては「全会一致」が慣例となっており、各大臣が責任を持って合意することが重視されています。
問10	答え 4 出席議員の3分の2以上	衆議院で可決された法律案を参議院が否決、あるいは修正した場合、衆議院は再び審議を行います。ここで出席議員の3分の2以上の多数で再可決すると、参議院の同意を得ずとも法律として成立します。これは、より国民の民意に近いとされる衆議院の意見を重んじるための強い権限です。
問11	答え 3 衆議院議員総選挙	国民審査は、最高裁判所の裁判官が任命された後、初めて行われる衆議院議員総選挙の際に投票が行われます。その後も10年経過するごとに同様の審査が行われます。
問12	答え 1 最高裁判所	最高裁判所は全ての裁判所が持つ違憲審査権の最終判断を下す機関です。具体的な事件についてのみ法律が憲法に違反していないかを判断し、違反している場合は法律を無効にできます。
問13	答え 4 簡易裁判所	簡易裁判所は、民事訴訟では訴額が140万円以下の争いなどを担当し、刑事訴訟では罰金刑以下の軽い罪を扱います。弁護士ではなく、司法書士が代理人になれる場合もあるのが特徴です。
問14	答え 2 衆議院の優越	衆議院の優越とは、憲法で定められた衆議院が持つ強い権限です。予算の議決において両院が不一致の場合、両院協議会を経ても結論が出なければ、衆議院の議決が国会の議決となります。また、内閣総理大臣の指名や条約の承認についても同様の優越が認められています。衆議院の方が任期が短く、解散もあるため、国民の意見の変化に敏感であるという点が根拠となっています。
問15	答え 4 地方裁判所	地方裁判所で行われる特定の重大な刑事事件において、くじで選ばれた裁判員が裁判官と共に審理に参加します。有罪か無罪か、また量刑はどの程度にするかを話し合って決めます。
問16	答え 3 会期の延長	通常国会は原則として150日間ですが、議論が長引く場合は一度だけ「会期の延長」が認められています。これは衆議院と参議院の双方の同意を得て行われます。